



なでしこ

【校訓】かしく なかよく たくましく 【教育目標】進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 かいばいやりぬく子

令和6年8月28日
さいたま市立谷田小学校
TEL 882-2980
FAX 811-1334
<http://yada-e.saitama-city.ed.jp>
【在籍児童数】571名

関東大震災から101年～命を守るための備え～

校長 村田 寿一

夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声もどりました。長い夏休みはいかがでしたでしょうか。家庭において充実した時間を過ごすことができたでしょうか。子ども達は短期間で見違えるように成長します。夏休みのよき経験が学校で発揮されることを大いに期待しています。

さて、今年の夏休み期間は、パリオリンピックが開催され大いに盛り上がりを見せました。それと同時に、少し大きめの地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表され、驚いた方も多かったと思います。今から101年前の9月1日、11時58分に関東大震災が発生、死者、行方不明者推定10万5000人という未曾有の大災害となりました。そして、この9月1日が「防災の日」と定められ、近代日本における災害対策の出発点となりました。地震対策のため、家庭でできることにはどんなことがあるのでしょうか。この機会に考えてみてはいかがでしょうか。

災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておきましょう～

○家具の置き方は工夫していますか？ 阪神淡路大震災や新潟中越地震では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり大けがをしたりしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えましょう。・家具は壁に固定する ・子供部屋に家具をなるべく置かない。置く場合はなるべく背の低いものにして倒れたときに出入口をふさがないように向きや配置を工夫する。・手の届くところに、懐中電灯、スリッパ、ホイッスルを備えておく。

○食料・飲料水などの備蓄は十分ですか？ ライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料を備蓄する。大規模災害では1週間分の備蓄が望ましいといわれています。・飲料水一人1日3リットルが目安 ・非常食 ごはん（アルファ米など）、ビスケット、チョコレート、乾パンなど ・トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ライター、ろうそく、カセットコンロなど ・飲料水とは別に生活用水も必要なので日頃から水道水を入れたポリタンクや風呂の水を張っておくなどの工夫をする ※最近ではポータブル電源を準備することもよいといわれています。

○非常持ち出しバッグ等の準備は？ 自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。事前に非常持ち出しのためのリュックを用意しておきましょう。 ※持ち出しチェックリストはWEB 検索するといろいろ出てくるので参考にしましょう。また、ニュース等でも伝達されていましたが、車がある場合には、ガソリンは常に満タンに近い状態にしておくといよいそうです。

○ご家族同士の安否確認方法は決まっていますか？ お互いの安否が確認できるように日頃から安否確認方法や集合場所などを事前に話し合っておきましょう。・災害伝言ダイヤル 局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生できます。・災害伝言板携帯電話からインターネットサービスを利用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが閲覧することも知っておくと便利です。

○避難場所や避難経路の確認をしていますか？ ・あわてずに避難できるように防災マップやハザードマップを入手し、事前に確認しましょう。

災害に備えることは、命を守ることです。災害による被害をできるだけ少なくするには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。その中でも基本となるのは「自助」です。自らの命は自ら守る意識をもち一人ひとりが自分の身を守る心構えについて考える機会にしてはいかがでしょうか。